

—静岡県焼津市—

漁師の仕事! 船と漁業を知る授業・漁船員の仕事を疑似体験

6 月 1 日、全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合が後援する「漁師の仕事!船と漁業を知る授業」が、遠洋漁業の盛んな静岡県焼津市で開催された。この漁業就業ガイダンスは、実際に漁船を見てから就職ガイダンスに臨むという企画で、静岡県立焼津水産高等学校をはじめ、北海道、青森県、山形県、栃木県、富山県、島根県、沖縄県の各水産・海洋系の高等学校から約 60 人、県内外の中学校から約 50 人、生徒の保護者、関係者など約 60 人が参加した。

全国漁業就業者確保 育成センターの取り組み

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターは、水産庁や一般社団法人大日本水産会、全国漁業協同組合連合会の協力の下、漁業への新規就業者を発掘するため、就労に関する情報提供や全国各地域・各漁業協同組合などと連携し、新たな漁業の担い手を確保・育成することを目的の中心に、漁業就業支援に取り組んでいる。

「漁師の仕事!船と漁業を知る授業」が開催される前日の 5 月 31 日 18 時から水産高校交流会が開催され、漁業就業ガイダンスに参加する生徒や企業が参加し、懇親を深めた。

一般社団法人全国漁業就業者確保支援センターの馬上敦子事務局長の司会ではじまり、静岡県立焼津水産高等学校の靱山誉人教諭も交流会に加わった。その後、参加した各学校・各企業からそれぞれ紹介があり、各学校が持ち寄ったご当地のお土産を交換するなどして交流を深めた。最後に北海道函館水産高等学校の常本利斗さんが二代目団長に選出され「期間中、参加するみんなを引っ張っていきたい」と意気込みを語り交流会は終了した。

「海員だより」